

DENON®

DCD-600NE

COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露(つゆつき)について	4
換気についてのご注意	4
移動させるときのご注意	4
付属品	5
乾電池の入れかた	6
リモコンの使いかた	6
特長	7
高音質	7
多彩な機能	7
各部の名前	8
フロントパネル	8
ディスプレイ	10
リアパネル	11
リモコン	12

接続のしかた

アンプを接続する	19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	20
オーディオタイマーを接続する	21
電源コードを接続する	22

再生のしかた

基本操作	24
電源を入れる	24
電源をスタンバイにする	24
ディスプレイの明るさを切り替える	25
ピュアダイレクトモードに切り替える	25
CDを再生する	26
CDを再生する	26
お好みの順序で再生する(プログラム再生)	28
データCDを再生する	29
ファイルを再生する	30
タイマー再生をおこなう	32

設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する	33
------------------	----

困ったときは

こんなときの解決方法	35
------------	----

故障かな?と思ったら	36
------------	----

電源が入らない / 電源が切れる	37
------------------	----

リモコンで操作ができない	38
--------------	----

本機のディスプレイが表示されない	38
------------------	----

音がまったく出ない	39
-----------	----

音が途切れたり、ノイズが入ったりする	39
--------------------	----

ディスクが再生できない	40
-------------	----

保証と修理について	41
-----------	----

付録

ディスクの再生について	43
-------------	----

ファイル	43
------	----

ファイルの再生順番について	45
---------------	----

フォルダとファイルについて	45
---------------	----

メディア使用時のご注意	46
-------------	----

ディスクの入れかた	46
-----------	----

メディアの取り扱いについて	47
---------------	----

ディスクのお手入れのしかた	47
---------------	----

用語の解説	48
-------	----

主な仕様	49
------	----

索引	52
----	----

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット

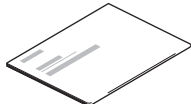
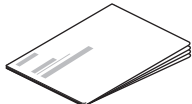

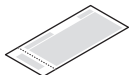
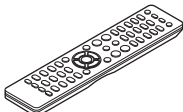

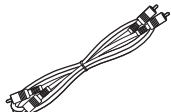


- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

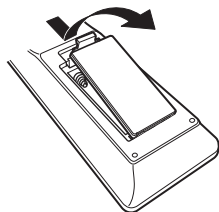
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

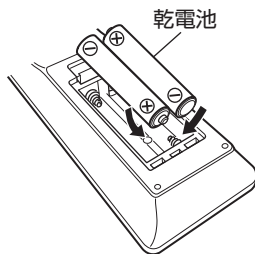
 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>取扱説明書(本書)</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>保証書</p>
 <p>リモコン (RC-1234)</p>	 <p>単4形乾電池(2本)</p>	 <p>オーディオケーブル</p>	

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- 2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



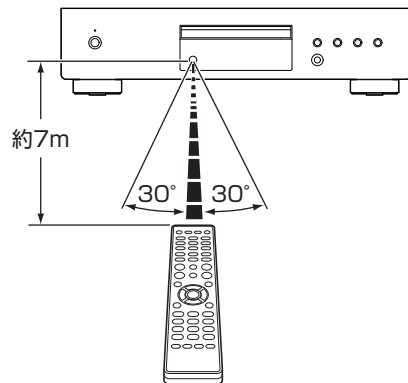
- 3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

高音質

- **AL32 Processing と高精度 32bit/192kHz D/A コンバーター**
Denon 独自のアナログ波形再現技術 AL32 Processing を搭載。16bit のデジタルデータを 32bit に拡張することで、微小信号の再現性を高めました。また、AL32 Processing で拡張したデジタルデータをアナログ信号に変換するために、32bit/192kHz に対応した高精度 D/A コンバーターを採用しています。

多彩な機能

- **MP3、WMA ファイル再生に対応 (P.29 ページ)**
CD-R/CD-RW に記録した MP3、WMA ファイルを再生できます。
- **スタンバイ時の消費電力の低減**
環境を考慮し、スタンバイモードでの消費電力を 0.3W 以下に低減しています。

目次

接続のしかた

再生のしかた

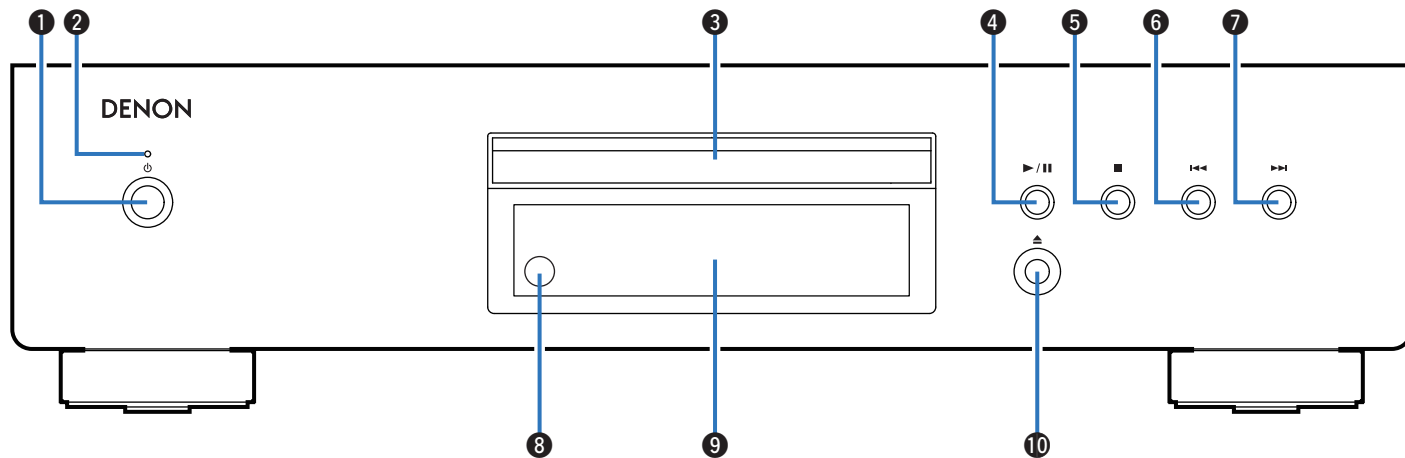
設定のしかた

困ったときは

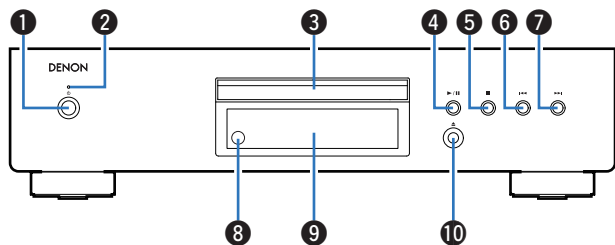
付録

各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① 電源ボタン(⏻)

本機の電源をオン/オフします。(P.24 ページ)

② 電源表示

電源の状態によって、次のように点灯します。

- 電源オン時: 緑色
- スタンバイ時: 消灯
- 電源オフ時: 消灯

③ ディスクトレイ

ディスクを挿入します。

④ プレイ/ポーズボタン(▶/⏸)

再生をはじめます。再生中に押すと一時停止します。

⑤ ストップボタン(■)

再生を停止します。

⑥ スキップボタン(⏮)

再生中の曲の先頭にスキップします。

⑦ スキップボタン(⏭)

次の曲の先頭にスキップします。

⑧ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.6 ページ)

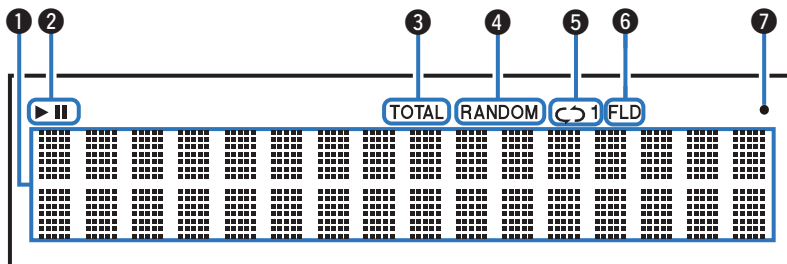
⑨ ディスプレイ

各種情報を表示します。(P.10 ページ)

⑩ ディスクトレイ開閉ボタン(⏮)

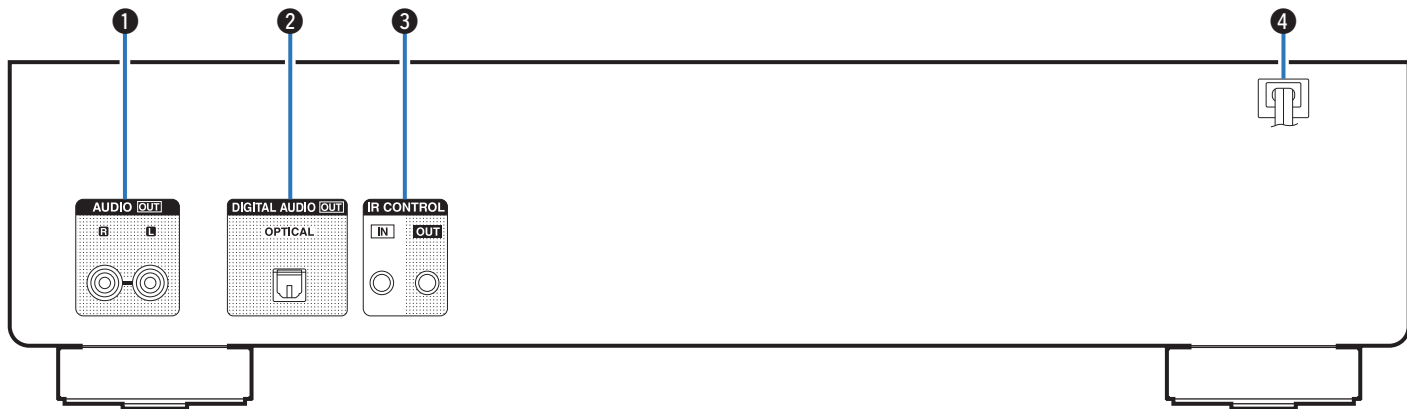
ディスクトレイを開閉します。

ディスプレイ



- ① インフォメーションディスプレイ**
再生時間表示など、各種情報を表示します。
- ② 再生モード表示**
▶:再生中に点灯します。
||:一時停止中に点灯します。
- ③ トータル時間表示**
ディスクに収録されている全曲数および全収録時間を表示しているときに点灯します。
- ④ ランダム表示**
ランダム再生中に点灯します。
- ⑤ リピートモード表示**
リピートモードの設定に合わせて点灯します。
- ⑥ フォルダ再生モード表示**
CD-R/CD-RW の再生範囲の設定がフォルダ再生モードのときに点灯します。(P.31 ページ)
- ⑦ リモコン受信表示**
リモコンからの信号を受信したときに点灯します。

リアパネル



① アナログ音声出力端子 (AUDIO OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(☞ 19 ページ)

② デジタル音声出力端子 (DIGITAL AUDIO OUT)

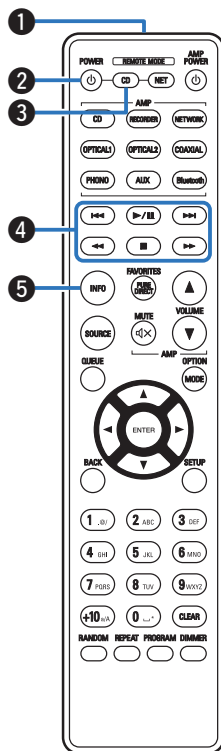
デジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続します。(☞ 20 ページ)

③ IR コントロール端子 (IR CONTROL)

IR コントロール端子付きの Denon 製ネットワークオーディオプレーヤーを接続します。

④ 電源コード (☞ 22 ページ)

リモコン



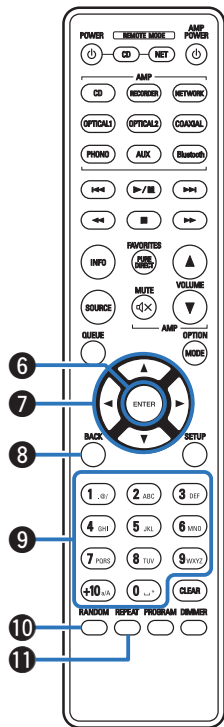
付属のリモコンは本機だけでなく、Denon 製アンプおよびネットワークオーディオプレーヤーも操作できます。

- 「アンプの操作」(P.15 ページ)
- 「ネットワークオーディオプレーヤーの操作」(P.16 ページ)

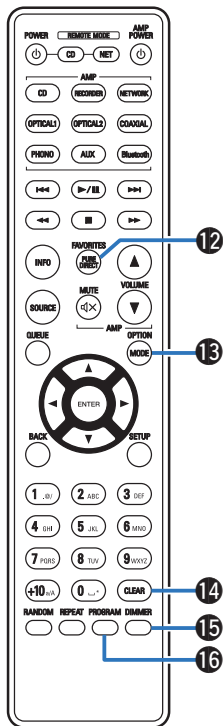
■ 本機の操作

本機を操作するときは、REMOTE MODE CD ボタンを押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えます。

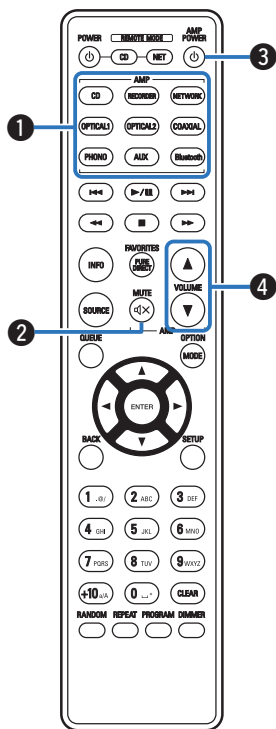
- 1 **リモコン信号送信窓**
リモコンの信号を送信します。(P.6 ページ)
- 2 **電源ボタン(POWER)**
本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.24 ページ)
- 3 **リモートモード切り替えボタン (REMOTE MODE CD)**
リモコンを CD プレーヤーの操作モードに切り替えます。
- 4 **システムボタン**
再生に関する操作をします。
- 5 **インフォメーションボタン(INFO)**
ディスプレイに表示する再生中の曲情報を切り替えます。



- ⑥ エンターボタン(ENTER)
選択した内容を確定します。
- ⑦ カーソルボタン(△▽◀▶)
項目を選択します。
- ⑧ バックボタン(BACK)
ひとつ前の項目に戻ります。
- ⑨ 数字ボタン(0 ~ 9、+10)
数値を入力します。
- ⑩ ランダムボタン(RANDOM)
ランダム再生をします。
- ⑪ リピートボタン(REPEAT)
リピート再生をします。



- ⑫ **ピュアダイレクトモードボタン(PURE DIRECT)**
ピュアダイレクトモードに切り替えます。(P.25 ページ)
- ⑬ **モードボタン(MODE)**
データ CD の再生範囲を選択します。(P.31 ページ)
- ⑭ **クリアボタン(CLEAR)**
プログラム再生の登録を取り消します。(P.28 ページ)
- ⑮ **ディマーボタン(DIMMER)**
ディスプレイの明るさを調節します。(P.25 ページ)
- ⑯ **プログラムボタン(PROGRAM)**
プログラム再生をします。(P.28 ページ)



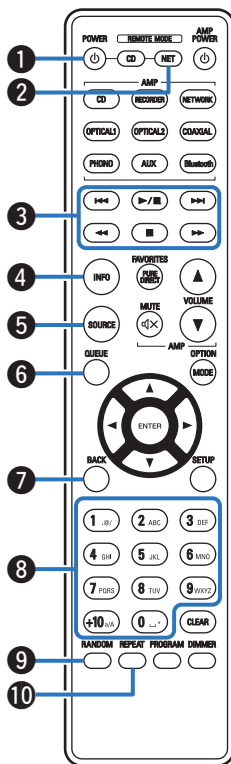
■ アンプの操作

Denon 製アンプを操作できます。

- 1 入力ソース切り替えボタン
- 2 ミュートボタン(MUTE M)
- 3 電源ボタン(AMP POWER P)
- 4 音量調節ボタン(VOLUME \blacktriangle \blacktriangledown)



- 一部操作ができない製品もあります。

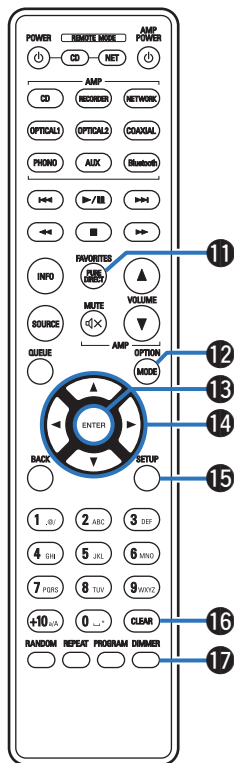


■ ネットワークオーディオプレーヤーの操作

Denon 製ネットワークオーディオプレーヤーを操作できます。

Denon 製ネットワークオーディオプレーヤーを操作するときは、REMOTE MODE NET ボタンを押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えます。

- ① 電源ボタン(POWER ❷)
- ② リモートモード切り替えボタン (REMOTE MODE NET)
- ③ システムボタン
- ④ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑤ メディアモード選択ボタン(SOURCE)
- ⑥ キューリスト呼び出しボタン(Queue)
- ⑦ バックボタン(BACK)
- ⑧ 数字/文字ボタン(0~9、+10)
- ⑨ ランダムボタン(RANDOM)
- ⑩ リピートボタン(REPEAT)



- ① お気に入り呼び出しボタン (FAVORITES)
- ② オプションボタン (OPTION)
- ③ エンターボタン (ENTER)
- ④ カーソルボタン (△▽◀▶)
- ⑤ セットアップボタン (SETUP)
- ⑥ クリアボタン (CLEAR)
- ⑦ ディマーボタン (DIMMER)



• 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

■ 目次

アンプを接続する	19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	20
オーディオタイマーを接続する	21
電源コードを接続する	22

ご注意

- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

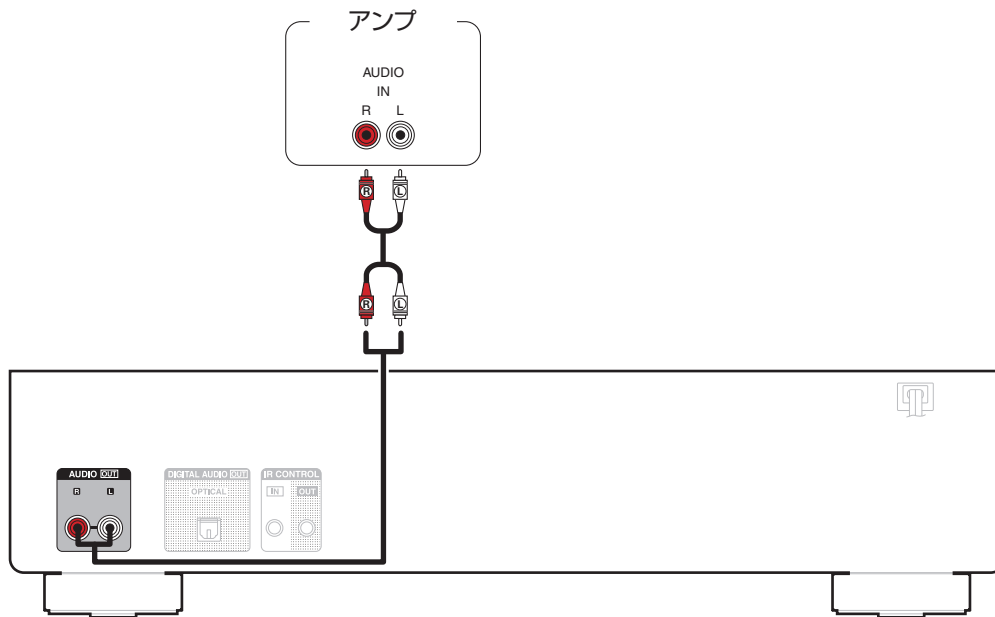
オーディオケーブル
(付属)



光伝送ケーブル

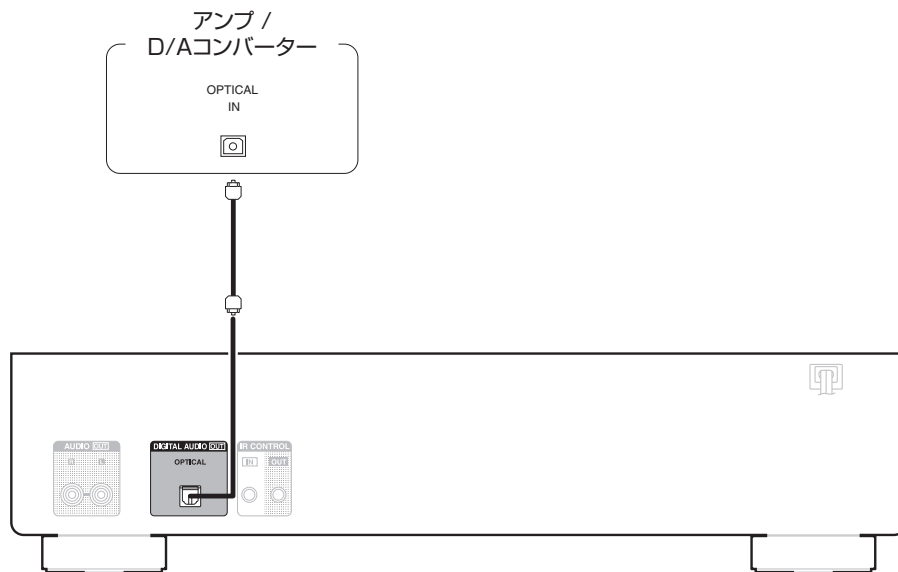


アンプを接続する



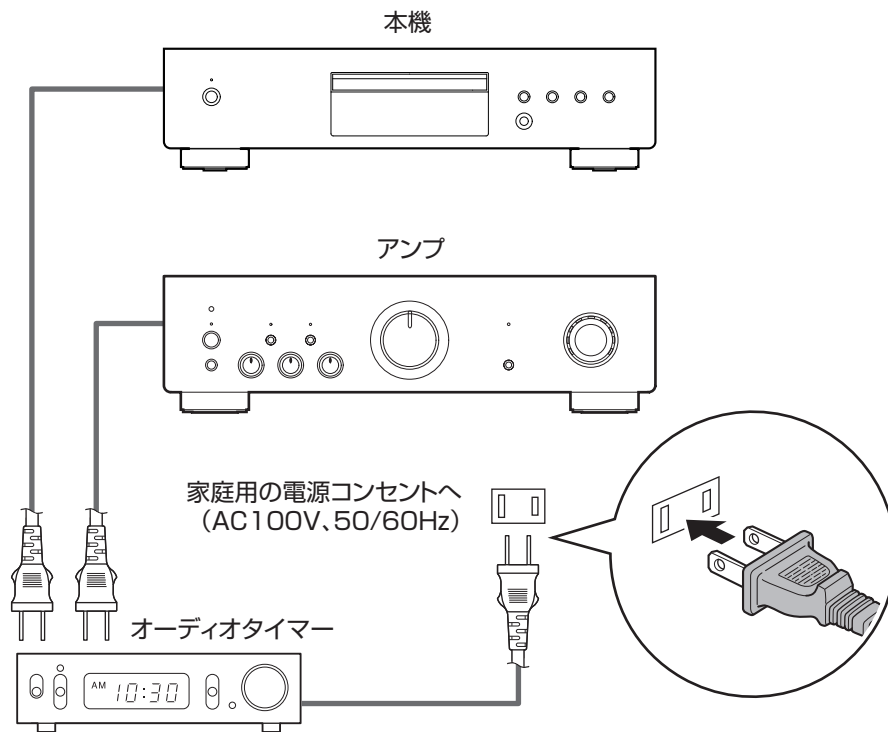
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続すると、デジタル音声を再生できます。



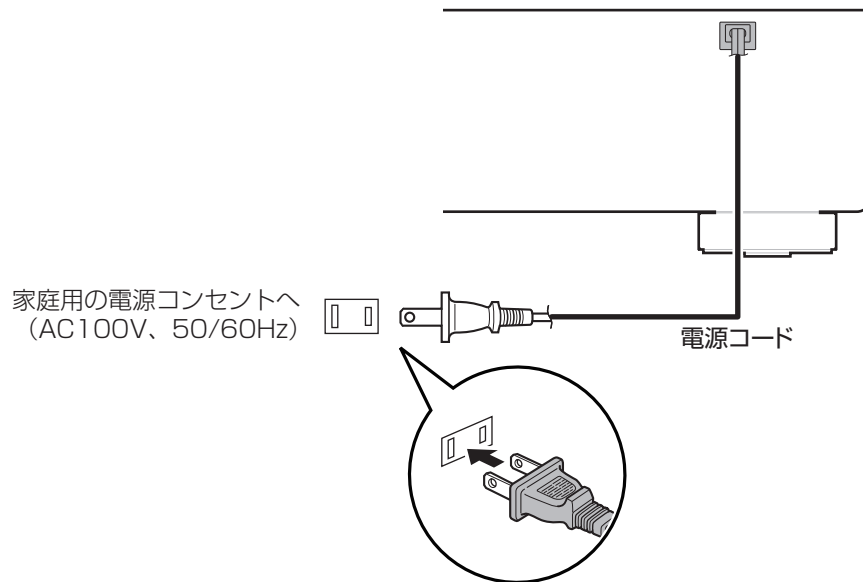
オーディオタイマーを接続する

本機にアンプおよびオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生ができます。([「タイマー再生をおこなう」](P.32 ページ))



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

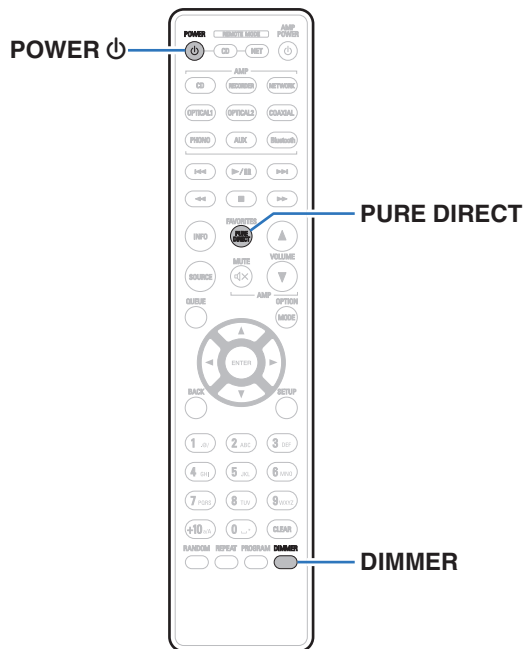


再生のしかた

■ 目次

基本操作	24
CD を再生する	26
データ CD を再生する	29
タイマー再生をおこなう	32

基本操作



電源を入れる

- 1 本体の **電源** ボタンを押して、電源を入れる。
電源表示が緑色に点灯します。



- スタンバイ状態から再び電源を入れるときは、リモコンの **電源** ボタンを押してください。

電源をスタンバイにする

- 1 **電源** ボタンを押す。
スタンバイ状態になります。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、本体の **電源** ボタンを押して電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを4段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。



- お買い上げ時のディスプレイの明るさは、最も明るい設定です。
- DIMMER を2秒以上長押しすると、ディスプレイの明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

ピュアダイレクトモードに切り替える

ピュアダイレクトモードにするとディスプレイが消灯し、デジタル音声出力を停止できます。

これにより音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 PURE DIRECT を押す。

ディスプレイが消灯し、ピュアダイレクトモードになります。

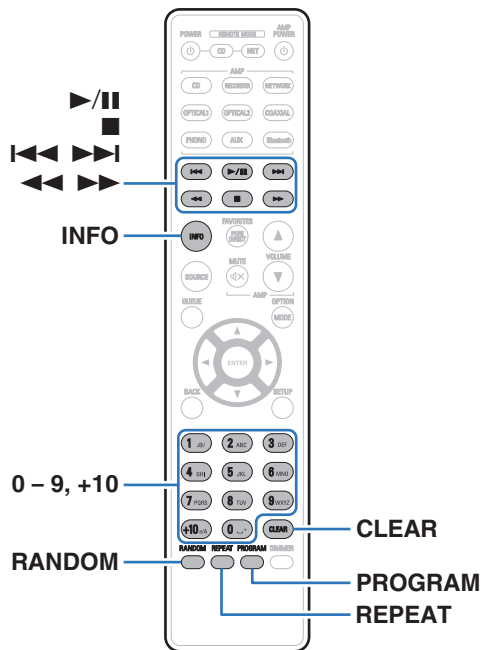
- ボタンを押すたびに、ピュアダイレクトモードが切り替わります。

PURE DIRECT ON MODE1:	ディスプレイを消灯し、デジタル音声出力します。
PURE DIRECT ON MODE2:	ディスプレイを消灯し、デジタル音声出力を停止します。
PURE DIRECT OFF (お買い上げ時の設定):	ピュアダイレクトモードを無効にします。



- ピュアダイレクトモードでは、ディスプレイの明るさを切り替えることはできません。
- 再生中の場合にのみ、ディスプレイを消灯します。

CDを再生する



CDを再生する

- 1 ディスクを入れる。(P.46 ページ)
 - 本体の ▲ ボタンを押すと、ディスクトレイが開閉します。
- 2 ▶/|| を押す。
 - ディスプレイの ▶ 表示が点灯し、再生をします。

ご注意

- ディスクトレイにはディスク以外の物を入れないでください。故障の原因となります。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

操作ボタン	機能
▶/■	再生/一時停止
■	停止
◀◀▶▶	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/ 次の曲にスキップ
◀◀▶▶	早戻し/早送り
0~9, +10	曲の選択
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 <ul style="list-style-type: none"> 全曲リピート、1 曲リピートおよびリピートオフを切り替えます。
INFO	時間表示切り替え <ul style="list-style-type: none"> 再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。 本機の表示時間は 1 秒未満を切り捨てて計算しているため、実際の時間と異なる場合があります。

■ 再生できるディスクについて

- 「ディスクの再生について」をご覧ください。(P.43 ページ)

■ 好きな曲を聴く(ダイレクト選曲)

1 0 ~ 9、+10 を押して、トラック番号を入力する。

【例】

4 曲目:

数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目:

数字ボタンの+10 と 2 を押す。

お好みの順序で再生する(プログラム再生)

最大 25 曲までプログラム再生ができます。

- 1 停止中に PROGRAM を押す。
ディスプレイに“PGM”を表示します。
- 2 0 ~ 9、+10 を押して、トラック番号を入力する。
【例】
3 曲目、12 曲目の順にプログラムする場合は、3、+10、2 と押す。
- 3 ▶/|| を押す。
プログラムした曲順に再生をはじめます。



- ディスクトレイを開いたり電源を切ったりすると、プログラム再生を解除します。
- プログラム再生中に RANDOM を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- プログラム再生中に REPEAT を押すと、プログラムした曲順にくり返し再生します。

■ プログラムした曲順を確認する

停止中に ▶▶ を押す。

▶▶ を押すたびに、プログラムした曲順でトラック番号を表示します。

■ プログラムした曲を取り消す

停止中に CLEAR を押す。

CLEAR を押すたびに、最後にプログラムした曲から順に取り消します。

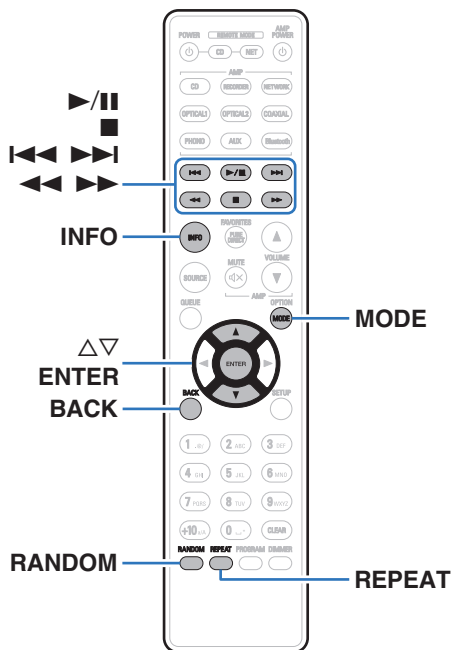


- ▶▶ を押して、取り消したい曲を選択することもできます。

■ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中に PROGRAM を押す。

データ CD を再生する



- ここでは、CD-R/CD-RW に記録している音楽ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio) 形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。それらのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R/CD-RW に書き込むことにより、本機で再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「再生できるファイルの仕様」をご覧ください。(P.43 ページ)
 - MP3
 - WMA

ご注意

- 著作権保護されたファイルは再生できません。また、書き込みソフトやその他の要因により再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 音楽ファイルを記録してある CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。(P.46 ページ)

- 本体の ▲ ボタンを押すと、ディスクトレイが開閉します。

2 △▽ を押して、CD-R/CD-RW 内の音楽データから再生したい音楽ファイルを選び、ENTER を押す。

再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/■	再生/一時停止
■	停止
◀◀▶▶	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/ 次の曲にスキップ
◀▶▶▶	早戻し/早送り
BACK	1 つ上の階層に移動
△▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
MODE	曲の再生範囲の選択
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 全曲リピート、1 曲リピートおよびリピートオフを切り替えます。
INFO	タイトル/アーティスト名、タイトル/アルバム名、ファイル名の表示を切り替えます。



- CD-R/CD-RW 再生中に別のファイルを再生する場合は、次の操作をおこなってください。

- ① BACK を押して階層表示させる。
- ② △▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。

■ ディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- タイトル/アーティスト名、タイトル/アルバム名およびファイル名の表示を切り替えます。
- テキスト情報に対応しないファイルや曲名が記録されていないファイルの場合、ファイル名を表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

```

ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789
! " # $ % & ; < > ? @ \ [ ] _ ` | { } ~ ^ ' ( ) *
+ , - . / = (空白)

```

- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.(ピリオド)”に置き換えて表示します。
- 本機はディスク読み込み時にフォルダとファイルの番号を自動的に設定します。

■ 再生範囲を切り替える

停止中に MODE を押す。

- 曲の再生範囲を設定できます。

フォルダ再生モード:	選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。このとき、ディスプレイの“FLD”表示が点灯します。
全曲再生モード:	ディスク内のすべての曲を再生します。

タイマー再生をおこなう

- 1 接続した各機器の電源を入れる。(P.21 ページ)
- 2 アンプの入カソースを本機に切り替える。
- 3 本機にディスクを入れる。
- 4 オーディオタイマーを希望時刻に設定する。
 - オーディオタイマーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 5 オーディオタイマーを“オン”に設定する。
 - オーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。
 - 設定した時刻になると自動的に各機器の電源が入り、1 曲目から再生をはじめます。



- タイマー再生では、ランダム再生およびプログラム再生はできません。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

アナログ音声を高音質に再生したい	35
特定のフォルダのみを再生したい	35
CD-R/CD-RW 内のすべての曲をランダムに再生したい	35

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	37
リモコンで操作ができない	38
本機のディスプレイが表示されない	38
音がまったく出ない	39
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	39
ディスクが再生できない	40

こんなときの解決方法

アナログ音声を高音質に再生したい

- ピュアダイレクトモードを“PURE DIRECT ON MODE2”に切り替えてください。(P.25 ページ)

特定のフォルダのみを再生したい

- MODE ボタンを押して、再生モードをフォルダ再生モードに設定してください。(P.31 ページ)

CD-R/CD-RW 内のすべての曲をランダムに再生したい

- あらかじめ MODE ボタンを押して再生モードを全曲再生モードに設定してから RANDOM ボタンを押し、ランダム再生をおこなってください。(P.31 ページ)

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- 電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P22 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。リモコンの POWER ㊦ ボタンを押してください。(P24 ページ)

電源が自動的に切れる。

- オートスタンバイモードの設定がオンになっています。オートスタンバイモードでは何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを解除するには、オートスタンバイモード時にリモコンの POWER ㊦ ボタンを約 5 秒以上長押ししてください。(P33 ページ)

電源を入れたときに、電源表示が赤色に点滅している。

- 内部電源の異常により、保護回路がはたらいています。本体の ㊦ ボタンを押して電源を切り、再度電源を入れてください。

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.6 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.6 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.6 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- リモコンの DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。(P.25 ページ)
- ピュアダイレクトモードを“PURE DIRECT ON MODE1”または“PURE DIRECT ON MODE2”に設定すると、ディスプレイが消灯します。リモコンの PURE DIRECT ボタンを押して、“PURE DIRECT OFF”に設定してください。(P.25 ページ)

音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(☞ 18 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- アンプの設定を確認し、適切に調節してください。
- ピュアダイレクトモードを“PURE DIRECT ON MODE2”に設定すると、デジタル音声出力を停止します。デジタル音声を出力する場合は、ピュアダイレクトモードを“PURE DIRECT OFF”または“PURE DIRECT ON MODE1”に設定してください。(☞ 25 ページ)

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

CD-R/CD-RW を再生中に音が途切れる。

- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。

ディスクが再生できない

再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。

- ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。(P.47 ページ)

CD-R/CD-RW が再生できない。

- ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。(P.43 ページ)
- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。
- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(P.43 ページ)

ディスプレイに“NO DISC”と表示される。

- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“NO DISC”を表示します。

ディスプレイに“SYSTEM ERROR”と表示される。

- ディスクやフォーマットに起因しないエラーが起きた場合には、“SYSTEM ERROR”を表示します。

ディスプレイに“CAN'T READ DISC”と表示される。

- 本機が対応していないディスクを入れたり、汚れや傷のあるディスクを入れたりして本機がディスクを読み込めない場合には、“CAN'T READ DISC”を表示します。

ディスプレイに“WRONG FORMAT”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されている場合には、“WRONG FORMAT”を表示します。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(P.43 ページ)

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけず修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

ディスクの再生について

再生できるメディア	
CD	
CD-R	
CD-RW	

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

ファイル

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.wma

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大フォルダ数:256 個

フォルダ数とファイル数の合計:512 個

ご注意

- ファイルには必ず拡張子を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できません。
 - インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイル名のアルファベット順に再生します。

CD-R/CD-RW

CD-R/CD-RW に記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ……の順番に再生します。

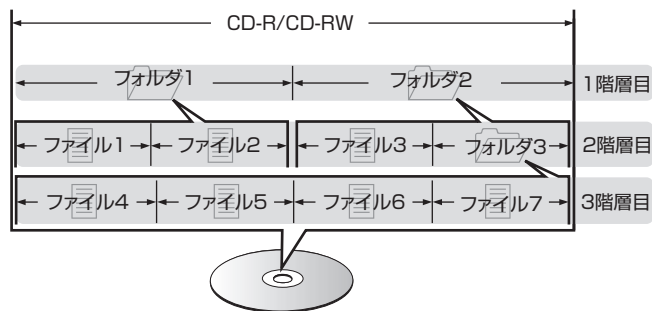


- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が異なる場合があります。

フォルダとファイルについて

CD-R/CD-RW に記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。

ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。

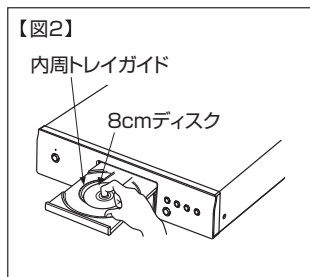
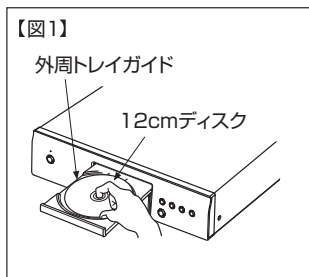


- 音楽ファイルを CD-R/CD-RW に書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド(図 1)に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド(図 2)に合わせて、水平に載せてください。



- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

ご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

メディアの取り扱いについて

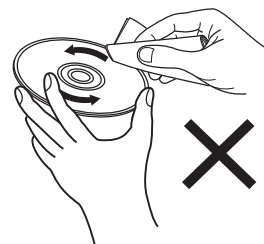
- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かささないでください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。



円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

用語の解説

AL32 Processing

AL32 Processing は Denon 独自のアナログ波形再現技術です。

16bit のデジタルデータを 32bit に拡張することで微小信号の再現性を高めました。

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ビットレート

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビット処理したかを表します。

ファイナライズ

DVD/CD などのレコーダーで収録したディスクを、再生対応機器で再生できるように処理することです。

リニア PCM

圧縮していない PCM(Pulse Code Modulation)信号です。MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

主な仕様

■ オーディオ部

・ アナログ出力

チャンネル:	2チャンネル
再生周波数範囲:	2Hz~20kHz(サンプリング周波数:44.1kHz)
再生周波数特性:	2Hz~20kHz(サンプリング周波数:44.1kHz)
SN比:	112dB
ダイナミックレンジ:	101dB
高調波歪率:	0.003%
出力レベル:	2.0V RMS

- 光学読み取り方式

レーザー:	AlGaAs
波長:	780nm
信号方式:	16-bit リニア PCM
サンプリング周波数:	44.1kHz

- デジタル出力

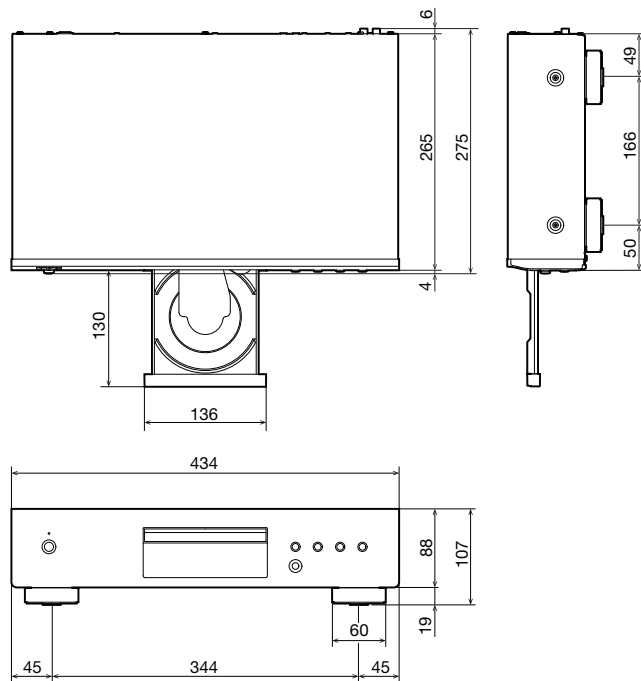
光出力(角型光コネクタ):	-15~-21dBm
---------------	------------

■ 総合

許容動作温度:	+5°C~+35°C
電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	12W
待機時消費電力:	0.3W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:4.3kg

索引

🔍 C

CD 26

🔍 D

D/A コンバーター 20

🔍 あ

アンプ 19, 20

🔍 お

オーディオタイマー 21, 32

オートスタンバイ 33

🔍 こ

故障かな?と思ったら 36

こんなときの解決方法 35

🔍 て

ディスプレイ 10

ディスプレイの明るさ 25

データ CD 29

🔍 ぶ

プログラム再生 28

フロントパネル 8

🔍 り

リアパネル 11

リモコン 12







DENON®

www.denon.com

Printed in Vietnam 5411 11757 00ASA

Copyright © 2019 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.